

平成24年度 社会福祉法人白寿会

事業報告書

平成24年度における社会福祉法人白寿会として、次の事業を実施した。

第1. 白寿会法人本部

1 理事会・評議員会

(1) 平成24年5月28日(理事会・評議員会)

- ア 平成23年度社会福祉法人白寿会収入支出予算予備費の流用について
- イ 平成23年度社会福祉法人白寿会事業報告について
- ウ 平成23年度社会福祉法人白寿会収入支出決算について
- エ 平成23年度社会福祉法人白寿会監査結果報告について
- オ 社会福祉法人白寿会定款の一部改正について
- カ 社会福祉法人白寿会職員給与規程の一部改正について
- キ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- ク 社会福祉法人白寿会「別館建設」事業について
- ケ 会計処理における不適合の報告について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(2) 平成24年9月10日(理事会・評議員会)

- ア 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」及び「本館改修」に伴う資金計画について
- イ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」及び「本館改修」に伴う資金の調達について
- ウ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」に伴う実施設計での導入各システム計画について
- エ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」の進捗状況について
- オ 建築確認・積算業務委託契約の締結について
- カ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- キ 平成23年度下半期聞き取り情報取り纏め結果報告について
- ク 平成23年度下半期悩み解決結果報告について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(3) 平成24年10月2日(理事会)

- ア 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」に伴う土地入手における理事長の職務代理者の選任について

(4) 平成24年10月29日(評議員会)

- ア 平成24年度社会福祉法人白寿会中間決算報告について
- イ 社会福祉法人白寿会 監事の選任について
- ウ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」に伴う土地購入について
- エ 社会福祉法人白寿会「別館建設」に伴う実施計画での導入各システム計画について
- オ 平成25年度給食業務委託業者の選定について
- カ 送迎用車輛購入のための入札の執行について
- キ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- ク 平成24年度上半期聞き取り情報取り纏め結果報告について
- ケ 平成24年度上半期悩み解決結果報告について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(5) 平成24年10月29日(理事会)

- ア 平成24年度社会福祉法人白寿会中間決算報告について
- イ 社会福祉法人白寿会 監事の選任について
- ウ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」に伴う土地購入について
- エ 社会福祉法人白寿会「別館建設」に伴う実施計画での導入各システム計画について
- オ 平成25年度給食業務委託業者の選定について
- カ 送迎用車輛購入のための入札の執行について
- キ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- ク 平成24年度上半期聞き取り情報取り纏め結果報告について
- ケ 平成24年度上半期悩み解決結果報告について
- コ 社会福祉法人白寿会 評議員の選任について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(6) 平成24年12月10日(理事会・評議員会)

- ア 別館建設に伴う敷地造成工事の入札について
- イ 入札の結果について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(7) 平成25年1月28日(理事会・評議員会)

- ア 入札の結果について
- イ 社会福祉法人白寿会職員旅費規程の一部改正について
- ウ 特別養護老人ホームいぶき苑本館改修計画について
- エ 特別養護老人ホームいぶき苑別館建設に伴う実施設計の中間報告
- オ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- カ 平成25年度各種物品等購入のための入札の執行について
- キ 特別養護老人ホームいぶき苑駐車場用地の購入について
- ク 別館建設資金借入のための基本財産担保提供について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(8) 平成25年3月25日(評議員会)

- ア 平成24年度老人福祉施設指導監査の結果について
- イ 入札の結果について
- ウ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」の進捗状況について
- エ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
- オ 社会福祉法人白寿会特別養護老人ホームいぶき苑運営規程の一部改正について
- カ 社会福祉法人白寿会指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について
- キ 社会福祉法人白寿会指定介護予防短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について
- ク 社会福祉法人白寿会障害者自立支援法に基づく短期入所事業所運営規程の一部改正について
- ケ 社会福祉法人白寿会経理規程の改正について
- コ 平成25年度社会福祉法人白寿会事業計画について
- サ 平成25年度社会福祉法人白寿会収入支出予算について
- シ いぶき苑別館建築工事の入札について
- ス いぶき苑別館建設の資金計画の変更について
- セ 別館建設資金借入のための基本財産担保提供について
- ソ 苦情解決のための第三者委員の委嘱について

これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

(9) 平成25年3月25日（理事会）

- ア 平成24年度老人福祉施設指導監査の結果について
 - イ 入札の結果について
 - ウ 社会福祉法人白寿会いぶき苑「別館建設」の進捗状況について
 - エ 平成24年度社会福祉法人白寿会収入支出補正予算について
 - オ 社会福祉法人白寿会特別養護老人ホームいぶき苑運営規程の一部改正について
 - カ 社会福祉法人白寿会指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について
 - キ 社会福祉法人白寿会指定介護予防短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について
 - ク 社会福祉法人白寿会障害者自立支援法に基づく短期入所事業所運営規程の一部改正について
 - ケ 社会福祉法人白寿会経理規程の改正について
 - コ 平成25年度社会福祉法人白寿会事業計画について
 - サ 平成25年度社会福祉法人白寿会収入支出予算について
 - シ いぶき苑別館建築工事の入札について
 - ス いぶき苑別館建設の資金計画の変更について
 - セ 別館建設資金借入のための基本財産担保提供について
 - ソ 苦情解決のための第三者委員の委嘱について
 - タ 特別養護老人ホームいぶき苑嘱託医師契約における理事長の職務代理者の選任について
- これらの案件については、原案のとおり可決承認された。

2 監事による監査

平成24年5月11日に、平成23年度における社会福祉法人白寿会の業務執行、財産管理及び収入支出決算の状況等について監査を受けた。

3 老人福祉施設実地指導監査

岐阜県西濃振興局による監査を平成25年2月15日に受けた。次の指摘を受け、改善した。

指 摘 事 項	改 善 内 容
<p>1 短期入所生活介護の入所者に対して、「身体拘束廃止委員会」での検討をせずミトンを使用していた。短期入所の場合であっても、身体拘束を実施する場合は、施設内の「身体拘束廃止委員会」に諮り適切な手続きをとること。</p> <p>※特別養護老人ホームの設置及び運営に関する基準について（平成12年3月老発第155号）第15条</p>	<p>1 ①施設にて「身体拘束廃止委員会」を開催した。 ②短期入所利用の方に対する事前面接の際、身体拘束の有無について確認項目を設けた。 ③短期入所利用者の状態変化に関し情報を入手する体制を整えた。（ケアプラン・事前訪問） ④短期入所利用者のご家族から身体拘束に関する同意を得て、「身体拘束に関する説明書」を取り交わした。</p>
<p>2 看護師の勤務時間について、機能訓練指導員としての勤務時間と看護師としての勤務時間を分けて勤務表を作成すること</p> <p>※特別養護老人ホームの設置及び運営に関する基準について（平成12年3月老発第155号）第15条</p>	<p>2 機能訓練回復指導員を兼務する看護師（1名）につきまして、常勤換算を看護師0.5：機能訓練指導員0.5とした。</p>

<p>3 嘱託医とは医療業務委託契約書ではなく、嘱託契約書を交わすこと。</p> <p>4 旅費規程に定めのない旅行者に対して支出がされていた（宿泊料を旅費で支出）ため、規程にもとづき適切に支出すること。また、概算払をした際の清算がされていなかったため、必ず清算を行うこと。</p> <p>*貴法人旅費規程</p>	<p>3 平成25年4月より嘱託契約書を交わした。</p> <p>4 ①旅行者に対しての支出（宿泊料を旅費で支出）に関しては、科目「研修費」として処理した。②概算払いの清算については、ご指摘の元となった「出張命令書」様式に清算行為の確認できる項目を追加した。</p>
---	---

4 事業活動の状況

(1) 当期の事業活動の状況は、次の結果となった。

○収入総額	472,036,055円
○支出総額	446,954,815円
○当期活動収支差額	25,081,240円
前期末繰越活動収支差額	649,274,509円
当期末繰越活動収支差額	674,355,749円

(2) 特別養護老人ホームいぶき苑

ア 利用率について

(ア) 特養	97.3%	(前年度 98.2%)
(イ) 短期	89.5%	(前年度 85.8%)

イ 平均介護度

(ア) 特養	4.1	(前年度 3.9)
(イ) 短期	2.7	(前年度 3.3)

(3) デイサービスぽかぽかいぶき

ア 利用率について

76.9% (前年度 86.3%)

イ 事業活動における収入

20,712,823円 (前年度 23,228,420円)

(ア) 主な変動理由 介護保険収入の減 △2,132,596円

ウ 事業活動における支出

22,344,541円 (前年度 22,447,430円)

(ア) 昨年度とほぼ同額

エ 収支差額

△1,631,718円

(4) 決算額の分析

ア 事業活動収支の部

単位：円

項目	平成24年度	平成23年度	増減	前年比
事業活動収入	468,119,513	466,894,438	1,225,075	100.26%
事業活動支出	445,207,282	447,081,911	△1,874,629	99.58%
事業活動収支差額	22,912,231	19,812,527	3,099,704	115.65%

(7) 事業活動収入変動の主な要因

a 寄付金収入の増	1, 287千円
b 雑収入の増	1, 812千円
c 介護保険収入の減	△3, 486千円
・特養の稼働率の低下	△2, 070千円
・デイサービスの稼働率の低下	△1, 956千円
d 経常経費補助金収入の減	△100千円

(4) 事業活動支出変動の主な要因

a 人件費	5, 807千円
・正職員増員（1名）による職員俸給の増	2, 567千円
・上記に伴う社会保険料等の増	1, 805千円
・介護雇用プログラムによるパート職員の増	2, 599千円
・職員諸手当の減	△1, 359千円
b 事務費支出	△10, 873千円
・委託費の減	△13, 387千円
別館建設費用の減（建設仮勘定に計上）	△8, 720千円
特別外部研修費用分の減	△2, 499千円
・研修費の増	1, 429千円
c 事業費支出	3, 053千円
・給食費の増	3, 261千円

イ 貸借の部

項目	平成24年度	平成23年度	増減	前年比
流動資産	597,849,223	597,686,124	163,099	100.02%
固定資産（基本財産）	308,169,372	301,524,199	6,645,173	102.20%
その他の固定資産	283,404,233	273,044,213	10,360,020	103.79%
負債	58,360,275	57,357,419	1,002,856	101.74%
純資産	1,131,062,553	1,114,897,117	16,165,436	101.44%

(7) 流動資産変動の主な要因

a 普通預金	△14, 229千円
b 定期預金	25, 000千円
c 有価証券 償還	△20, 000千円
d 未収金	9, 093千円

(4) 基本財産の変動 別館建設用地の増

24, 315千円

(9) その他固定資産の変動

a 器具及び備品	△4, 812千円
b 建設仮勘定	15, 548千円

(5) 負債の主な変動

a 未払金 業者等未払い分	784千円
b 預り金 社会保険料等	261千円

(4) 純資産の主な変動

a 国庫補助金等特別積立金 減価償却分	△8, 915千円
b 事業活動収支差額変動分	25, 081千円

第2. 特別養護老人ホームいぶき苑

1 サービス体制について

(1) 利用者さまの諸状況

ア 年齢別・性別の状況 (平成25年3月31日現在)

(単位：人)

	60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満
男	0	0	1	1	4	4
女	0	0	1	2	4	16
計	0	0	2	3	8	20

	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上 100歳未満	100歳以上	計
男	2	1	0	0	13
女	21	28	10	3	85
計	23	29	10	3	98

最高 男 90歳 最低 男 69歳 平均 男 80.2歳
 女 102歳 女 69歳 女 88.3歳
 全体 87.2歳

イ 介護度区分状況 (平成25年3月31日現在)

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	2	5	6	13
女	2	3	15	32	33	85
計	2	3	17	37	39	98

平均介護度 男性：4.3
 女性：4.1
 全員：4.1

ウ 在苑期間の状況 (平成25年3月31日現在)

(単位：人)

	1年未満	1年～3年	3年～5年	5年～10年	10年～	計	平均
男	3	6	1	1	2	13	3年10か月
女	18	24	14	19	10	85	4年3か月
計	21	30	15	20	12	98	4年2か月

最長期間 男性 17年10か月
 女性 19年2か月

エ 退苑理由の別の状況 (平成24年度)

(単位：人)

	関係者 引取り	自立 更生	入院	他施設 へ移動	死亡	無断退 苑	その他	計
男	0	0	0	0	4	0	0	4
女	0	0	3	0	17	0	0	20
計	0	0	3	0	21	0	0	24

オ 病弱者の状況 (平成25年3月31日現在) (延べ人数)

	特別障害者	高齢認知症
男	6	12
女	29	70
計	35	82

カ 日常生活の状況 (平成25年3月31日現在)

(単位:人)

区分	歩行				食事			入浴			着衣			
	自立	手引きなど	福祉用具使用	車椅子使用	自立	一部介助	全介助	見守り	一部介助	全介助	自立	見守り	一部介助	全介助
実人数	6	2	13	76	43	21	33	5	29	63	7	8	25	57
割合%	6	2	14	78	44	21	34	5	30	65	7	8	26	59

区分	排泄									
	昼間					夜間				
	トイレ		ポータブル		おむつ使用	トイレ		ポータブル		おむつ使用
自立	誘導	自立	誘導	自立		誘導	自立	誘導		
実人数	10	30	4	16	39	8	1	6	13	70
割合%	10	30	4	16	40	8	1	6	13	72

*排泄については、トイレ、ポータブル、おむつの併用があるため、延べ人数。

キ 入苑者の身元保証人状況 (平成25年3月31日現在)

(単位:人)

配偶者	親	子供(養子含む)	兄弟姉妹	嫁	その他の家族	知人	身寄りなし	成年後見人	計	
5	0	7	9	2	4	7	0	0	1	98

ク 出身世帯と連携状況 (平成24年度)

(単位:人)

	0	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80
面会状況	6	25	16	17	10	13	5	4	0
	81~90	91~100	101~150	151~200	201~250	251~300	301以上	計	
面会状況	7	7	8	1	3	0	0	122	
身元引受人への状況報告	年5回以上								

ケ 外出・外泊の状況 (平成24年度)

(単位:人)

	1回	2回	3回	4回	5回以上	計
外出	8	2	3	1	4	18
外泊	4	1	0	1	0	6

コ 市町別在籍人数調べ（平成25年3月31日現在）（単位：人）

町 村	男	女	計
垂井町	10	66	76
関ヶ原町	0	10	10
大垣市	3	9	12
計	13	85	98

サ 市町別新規入苑者（平成24年度）（単位：人）

垂井町	20
関ヶ原町	1
大垣市	1
計	22

(2) 職員の状況（パート職員を含む）

ア 採用職員（平成24年度）（単位：人）

職 種	人 数
介護職	10
看護職	0
生活相談員	1
栄養士	0
事務職	0
その他	0
合計	11

イ 退職職員（平成24年度）（単位：人）

職 種	人 数
介護職	9
看護職	1
生活相談員	0
栄養士	0
事務職	1
その他	0
合計	11

ウ 職員数（常勤換算数で表示）

（平成25年3月31日現在）（単位：人）

職 種	人 数	備 考	前年度
介護職	47.0		42.7
看護職	5.3	うち看護師4人、看護職員2人	5.8
生活相談員	2.3		2.5
栄養士	1.0	うち管理栄養士1.0人	1.2
機能訓練指導員	0.5	看護職員が兼務	0
事務職	4.6		3.6
ケアマネージャー	6.0	再掲	5.0

2 短期入所事業

緊急または介護者の病気、冠婚葬祭や介護疲れによる休養など、一時的に家庭での介護を受けられなくなった方や身体障害者の方を積極的に受け入れ、福祉と家庭の援護に努めた。

短期入所の利用状況（平成24年度）

	短期入所利用	送迎利用
利用人数（延べ）	240	599
利用日数（延べ）	2,054	

3 設備・備品の整備について

(1) 介護サービスに係る設備

- ア 厨房内キャビネット 1セット購入
- イ 送迎車輛 1台購入（愛のともしび基金補助事業）
- ウ 介護用ベッド 1台更新
- エ 喫茶用備品整備
- オ リクライニング車いす 1台購入

(2) 情報処理設備

- ア 介護保険システムを含む端末（ノートパソコン）
1台増設
- イ 投影用スクリーン 1台更新

(3) 環境整備

- ア 取り付け道路花壇植え替え
- イ エアコン 2台更新
- ウ セキュリティカメラ 2台設置
- エ インクジェットプリンタ 5台更新

4 職員の処遇改善について

(1) 臨時処遇改善手当の支給

国の介護職員処遇改善交付金を活用して、4月と5月の2ヶ月間、職員の処遇改善を行った。国における対象職員は介護職員のみであるが、介護職員だけでなく全職員に、一律月額15,000円を支給した。

なお、パート職員についても同様に支給した。（15,000円に常勤換算率を掛けた金額を支給した。）

改善額 2,069,574円（うち国の交付額 1,493,500円）。

6月からは、国の介護職員処遇改善交付金が廃止され、新たに処遇改善加算が設けられた。当法人においては、正職員の介護職員を対象に、一律月額15,000円を支給した。

改善額 8,362,661円（うち国の交付額 6,751,130円）

5 利用者さまの健康管理について

(1) バイタルチェックの実施

利用者様の健康管理を行い、日常生活状態の中から顔色、呼吸の状態を観察し異常の早期発見に繋げた。

(2) 医師診察

- ア 内科医師回診 週2回(火、金)
- イ 心療内科医師回診 月2回(第一、第三 木曜日)
- ウ 回診の介助、症状の経過観察と状態の報告し医師の指示を受け対応した。又容態が変

化した場合はご家族様に来苑を依頼し今後の対応等についての説明と意向を伺い対応に努めた。

(3) 服薬管理

薬を処方されているご利用者様には、確実に服薬されることと、飲み忘れのないようにユニットを回り服薬の確認に努めた。

(4) 健康診断の実施

身体的異常と感染症(結核)の早期発見として年2回(春季4月・秋季10月)の健康診断を実施した。

6 給食サービスの充実と栄養マネジメントについて

(1) 給食サービスの充実

毎月1回給食委員会を開催し、日々の食事から季節感を感じられるよう配慮し、食材・調理法にも変化をつけることで、バラエティーに富んだ食事提供に努めた。

ア 毎週3回(月・水・金)に選択食を実施し、主菜2種から選択していただき、自己決定の喜びを感じていただけた。

イ 今年度新規企画の「手作りおやつの日」を設け、目の前でおやつを作り提供した。

ウ 月1回喫茶を実施するとともに誕生者のお祝い場として開催した。徐々にご家族の参加もいただけるようになってきた。

エ ソフト食の改善にも努め、特に巻きずしや握りずしのソフト食を提供した。

(2) 栄養マネジメント実施状況

ア 要介護度と栄養リスク (平成25年1月31日現在) (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
低リスク	0	1	7	16	8	32
中リスク	2	0	10	21	24	57
高リスク	0	1	1	4	3	9
計	2	2	18	41	35	98

※平均介護度 3.9

※高リスク者の判定項目別人数: 褥瘡: 3人 体重減少: 6人

(3) 食事提供内容

ア 苑で提供している食種及び提供人数

- (ア) 普通食 63人
- (イ) 減塩食(高血圧食) 2人
- (ウ) ゼリー食 3人
- (エ) とろみ食 1人
- (オ) 経管栄養 12人
- (カ) 食物繊維制限食 1人
- (キ) 糖尿病食 5人
- (ク) 腎臓病食(心臓食) 8人
- (ケ) 糖尿病・心臓食 1人
- (コ) 潰瘍病食 1人
- (ク) 膵臓・胆嚢食 1人

※(キ)~(ク)は、療養食加算対象

イ 食事形態 (平成25年3月31日現在)

(単位：人)

		経口摂取(副食形態)							経管	絶食	計
		普通	刻み	細刻	ソフト	ペースト	ゼリー 流動食	トロミ 流動食	流動食		
経口摂取(主食形態)	飯	15	8	4	0	0	0	0	0		27
	軟飯	2	7	1	0	0	0	0	0		10
	全粥	4	18	10	5	0	0	0	0		37
	ゼリー 粥	0	0	0	2	0	0	0	0		2
	ペースト 粥	0	0	0	2	1	0	0	0		3
	流動食 ゼリー	0	0	0	0	0	3	1	0		4
経管	流動食	0	0	0	0	0	0	0	12		12
絶食										3	3
計		21	33	15	9	1	3	1	12	3	98

(4) 栄養補助食品について

褥傷改善、体重減少防止・改善など栄養状態を改善し、ADL (生活活動動作)、QOL (生活の質) を高める為に活用した。

ア エネルギー・たんぱく質補給 (医療保険対応：エンシュアリキッド)：2名

イ エネルギー・たんぱく質補給：12名

ウ 増粘剤：45名

7 相談業務と苦情処理

(1) 相談業務

利用者の日常生活における悩み、家族や地域の方の相談を受け、その都度対応した。利用者、家族、施設との連絡調整を図った。

相談件数は年間266件であった。

(2) 苦情処理

当苑において苦情等があった場合は、「苦情処理委員会」で検討を行った。「苦情処理第三者委員会」を11月に開催し、委員の皆様から苦情への対応について、および施設におけるサービスに対しての助言をいただいた。

8 感染症予防対策について

(1) インフルエンザ予防対策として、11月にワクチンの接種を施行した (入苑者97名・職員全員)

(2) インフルエンザ・ノロウイルス予防対策として

ア 利用者様には、手指消毒、口腔清拭、うがいの実施

イ 苑内環境対策として

- (ア) 第2木曜日の昼礼後清掃日とし、ベット柵、床、手すり、ドアノブ等の清掃・消毒を実施。さらに1月～3月の感染症者が多い時期は、毎木曜日に実施した。
- (イ) 毎日、11時・14時に窓を開け換気し、また廊下に濡れタオルを下げ湿度調節に努めた。

ウ 職員に対しては

- (ア) 手指消毒、マスク着用の徹底・強化
感染予防として手指消毒・うがいを徹底・強化するために意義を説明し、スタッフ個々の認識を高めることに努めた。
- (イ) 近隣の学校、保育所、テレビ、新聞等の情報から感染拡大等が出た場合は職員に注意を喚起した。
- (ウ) 健康チェック表により、職員に健康状態を報告させ、外部よりの感染防止に努めた。

エ 外来者に対しては

- (ア) 短期入所利用者様にも随時健康チェック表の提出を依頼した。
- (イ) 訪問者の方にも手指消毒とマスク着用の協力依頼した。

(3) 研修

感染に関する職員の知識および意識向上を図るため、外部講師（嘱託医師と業者）による研修を実施した。

(4) 肺炎球菌ワクチンの実施

初回ワクチン接種から5年以上経過されている方、初回接種の方65名にワクチンを接種した。(24年5月)

9 食中毒予防について

(1) 注意喚起の掲示

面会の方へ食中毒予防についてのご協力を得る為、食中毒の発生時期（夏季及びノロウイルス中毒については冬季）に、玄関・ユニットに協力依頼の文書を掲示した。

(2) 検便の実施

食事提供に携わる職員全員検便を完全実施した。

介護職、看護職：食中毒多発時（4月、6月～10月、12月、2月）各月1回

栄養士：毎月1回 食中毒多発時 2回/月

(3) 食中毒警報

食中毒警報発令時（2回）には、衛生管理の徹底を図るべく、発令文書の掲示を行った。

10 口腔ケアについて

- (1) 食事の増進、口臭の防止(菌の繁殖予防)、嚥下障害の改善による誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアに努めた。

- (2) 歯科医師の助言・指導の下、口腔機能維持管理のため月1回口腔ケア委員会を開催した。

(3) 口腔機能維持管理加算

ア 入所者さまに対する口腔ケアの取組みを充実する観点から、(口腔機能維持管理体制加算を算定している場合)、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入所者さまに対し、口腔ケアを月4回以上行った。

イ 口腔機能維持管理加算110単位/月

11 特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携による医療的ケア

口腔内の痰の吸引、胃ろうによる経管栄養が必要になっても引き続き施設で生活が続けられるよう、又医療的ケアが必要な方も安心して施設に入所していただけるよう、本来、医師・看

看護師等の医療職のみが行うことの出来る医行為の一部を必要時に医師、看護職員との連携の下で介護職員も実施した。

(1) 対象業務

ア 口腔内の痰の吸引

イ 胃ろうによる経管栄養（接続と薬の注入、経過観察は看護師、経過観察・後片づけは介護職員）

実技、実施指導も終え 24 年度から 3 ヶ月毎の委員会の基で維持管理を実施。

12 リハビリ機能訓練の促進

リハビリ講師の指導の下、日常生活動作の中に拘縮予防と残存機能維持のための生活リハビリを取り入れ、QOL（生活の質）の向上を図るため月 1 回実施。

(1) 実施事項

ア 日程は実施した月に次月の日程を決める。時間は 16：00～17：00

イ 実施する利用者様は褥瘡委員会、ユニット会議で決定。

13 フットケアへの取り組み

(1) 爪白癬のため爪が変形しておられ、それにより足に傷を負うこともあるため入浴後、足先を乾燥させ定期的に爪切りを実施、軟膏を塗布し少しでも改善されるよう観察とケアを行った。

(2) 5 月から開始し、足や爪の状態をチェックしてチェック表に記載、継続したケアを行い 6 ヶ月後の状態観察とチェックを行い、わずかではあるが改善が確認された。

14 防火管理、防災対策について

不破消防組合東消防署の指導、協力を得て、防災訓練を 6 月と 9 月の 2 回実施した。（9 月は夜間に実施。）その折には、利用者さま、近隣自治会、隣家、垂井町消防団の方の御参加をいただいた。

実施日	指導・立会	訓練内容
6 月 6 日（木） 14：30～15：40	・不破消防組合東消防署	①東海地震防御訓練 （緊急地震速報受信装置使用） ・苑内通報、防御訓練 ・被害報告訓練 ②非常通報・初期消火・非常口、 門扉開錠・避難救出訓練 ・消防署等通報訓練 ・初期消火訓練 ・避難救出訓練 ③消火器訓練 ④搬送方法講習
9 月 5 日（木） 17：30～19：30	・不破消防組合東消防署 ・垂井町消防団岩手分団 ・近隣連合自治会長 ・近隣自治会長 ・隣家 ・いぶき苑家族の会 ・白寿会役員	①職員非常召集訓練 ②東海地震防御訓練 （緊急地震速報受信装置使用） ・苑内通報、防御訓練 ・被害報告訓練 ②非常通報・初期消火訓練 ・消防署等通報訓練 ・初期消火訓練

		<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導、防御訓練 ③救急法講習 (AED) ④非常食試食訓練 ・職員非常食試食訓練
--	--	--

また防災計画に基づき次のとおり備蓄を図った。

水 町水受水槽（満水時：12立方メートル）を利用

食料 150食分

防災備蓄 シーツ20枚、毛布20枚、タオル90本、軍手100組 自動車用ジャッキ
1台 吸水性土嚢30袋 紙おむつ（カバー不要テープ留めタイプ）2日分

*食料、防災備蓄については、日常使用の在庫品も別途使用可。

15 接遇改善について

毎月一回接遇改善推進委員会を開催し職員の接遇改善を推進している。

- (1) 各部署から委員を選出し、活動内容は美人シリーズとして「挨拶美人」「言葉美人」「姿美人」「動作美人」の4つの美人になれるよう、マニュアルを作成し全職員に周知できるようチェック表や動作など実際にロールプレイなども実施した。
- (2) 随時外部研修に参加し、参考にする冊子を職員に配布する等、実践に向けて種々情報を得ることに努めた。
- (3) 活動ごとにアンケートを実施し、振り返りも行った。

16 ボランティアとの協働について

ご利用者様の日常生活の潤いを創出するため多くの方の協力を得た。

- (1) 冬季を除き、年間を通して園芸活動をいただき、花壇の花が常時切れないような活動をしていただいた。また、さつま芋の芋苗植えや収穫にも協力いただき、利用者の方と植物を作る喜びや焼き芋大会での収穫の喜びを分かち合った。
- (2) 毎月来苑いただく手遊びボランティアの方の活動においては、月を経るごとに参加される利用者の輪が大きくなり、遊びながら生活リハビリの一助を担っていただいた。活動場所も多目的ホールのみではなく、各ユニットで開催いただき、より多くの参加を募ることに繋がった。
- (3) 7月には、「ボランティアの集い」を開催し、各々にボランティア活動いただいている方同士のふれあいと、研修として車椅子の介助方法と「脱水予防について」の講演を行った。
- (4) 毎年活動登録数が増加しジャンルが増えることで、ふれあいの場を増やすことができた。そのほか、定期的に来苑いただくボランティア団体の方々の活動で施設内の清潔や、利用者の方の身の回り等さまざまな活動と多くの方の活動の場の提供と、人同士の触れ合いを推進した。

活動いただいた団体・活動

大垣赤十字奉仕団、垂井町ボランティアクラブつばき会、関ヶ原ボランティアクラブ、美容2美容院（頭髪のカット）、関ヶ原愛あい座、関ヶ原民謡クラブ、垂井音頭振興会、関ヶ原三味線クラブ、岐阜県立不破高校、ギター演奏ボランティア、写真提供、写真撮影（行事等）、フラダンスグループ、ハーモニカ演奏、エレクトーン演奏、いぶき苑登録ボランティア（園芸、手遊び、行事介助）

活動内容

包布替え、園芸活動、手遊びによりリハビリ体操、頭髪のカット、ハーモニカ演奏、さつま芋植え・掘り、布団入れ替え、餅つき、話し相手、敬老の日余興、着物着付け、行事参加介助、ギター演奏、エレクトーン演奏、

月別ボランティア来苑数 (延 668人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	51	49	45	61	98	72	58	56	66	34	28	50

17 学習療法について

- (1) ご利用者様の実施場所・学習方法により3つのグループ編成 (A・B・Cのグループ) を行い実施した。学習は、月曜日から金曜日の間毎日実施し、全職員が交替で担当した。
- (2) 学習療法研究会が開催する学習療法シンポジウムや集いに参加し、他施設の事例に触れたり、講演を聴講し学習療法の運営のための参考とした。
- (3) 白寿会30周年記念行事には東北大学加齢医学研究所川島隆太教授を招聘し、垂井町文化会館に於いて講演会を開催した。当日は、大ホール700席の会場いっぱいに入りきれず、小ホール150席を利用しても入りきれず、多くの方にお断りをしたほどであった。当苑の学習療法についても紹介を行った。
- (4) 月末には、毎月検討会を開催し、困難な点や使用教材について検討を図り、スムーズに進められるよう配慮した。
- (5) 学習療法見学施設として、新規学習療法を検討している施設の見学等に対応した。

18 機関紙「いぶき」の発行

3か月ごと年4回機関紙「いぶき」を発行した。ご家族や地域とのつながりを深め、施設の理解を得ていただけるよう、タイムリーな情報を提供し、地域の中核となるように努めた。
1回につき1150部を印刷し、ご家族、法人役員、近隣地方公共団体、関係諸団体等に配布した。

19 ISO9001 (品質管理) によるサービス水準の維持向上について

当苑では、介護サービスの着実な実施を行うため、ISO9001 (品質管理) を平成17年3月に導入した。更なるサービス水準の維持向上を図るため、平成24年度は次のとおり実施した。

- (1) ISO審査の受審
10月31日、11月1日にISO審査機関による定期審査を受審した。不適合事項もなく、品質マネジメントシステムの登録継続が決定した。
- (2) 品質管理委員会の開催
毎月開催し、ISO9001における進捗状況を確認した。
- (3) 内部監査の実施
内部監査員により、実施状況を年2回 (8月、2月) 監査した。
- (4) マネジメントレビューの実施
内部監査の結果に基づき、年2回 (9月、3月) 改善案を検討した。
- (5) 年度目標に対する実施状況
 - ア 感謝の笑顔 年度目標：様々な活動の中で、人とのふれ合いを持ち、創る喜びや楽しみを感じていただきながら、職員の笑顔の創出を図る。
実施状況：ゴキブリ団子作成。さつま芋苗植え、収穫、焼き芋大会実施
笑顔週間 (毎月第2週の月～金) の実施。
 - イ 演出工夫 年度目標：思考トレーニングを行う。
月別にテーマを決め、川柳を作る。
月間3作品/人以上、年間1944作品以上
実施状況：年間2356作品
代表作を7つの外部機関に投稿。

- ウ 事故率0 年度目標：年間事故件数10件以下に抑える。
 実施状況：年間事故件数13件
 MAPの更新
 不適合（ヒヤリハット）の分析
 危険予知訓練の実施
 実技研修の実施
- エ 悩み 年度目標：年間200件以上の悩み解決を図る。
 悩み解決マップを作成する。
 悩み解決講演会を実施する。
 実施状況：年間悩み解決件数 266件
 相談内容を表にまとめ、掲示。
- オ 絆 年度目標：1日14人以上の人とふれあいを持てるような機会を創る。
 年間511,000のふれあいを実現する。
 実施状況：年間520,164のふれあいを実現。

20 別館建設事業の推進について

(1) 事業の規模

特養 ユニット個室80床（増設分40床、ユニット化分40床）

短期 個室20床

(2) 事業実施状況

ア 実施設計・積算

空建築事務所に委託（委託費 18,900,000円、期間H24/7/1～H25/3/31）

イ 岐阜県社会福祉施設整備助成金等申請要領に基づき、県に申請・協議を行った。

ウ 開発関係

(ア) 開発許可 平成25年2月26日付け
 岐阜県指令西建築第79号の5 岐阜県西建築事務所長名

(イ) 農地転用許可 平成25年2月26日付け
 岐阜県指令西農林第85号の11 岐阜県知事名

エ 建設用敷地の土地を購入した。

(ア) 購入面積 3,160.77㎡

(イ) 購入金額 24,395,700円（6名）

オ 資金の借入協議の結果

(ア) 予定金額 590,000,000円

(イ) 借入先 大垣共立銀行垂井支店

(ウ) 利率 変動金利0.45% 固定金利（当初5年）0.58%

(エ) 保証人 なし

(オ) 担保提供 別館の土地、建物

担保の提供については、H25/3/27付けで岐阜県知事の承認を得ている。

カ 敷地造成工事を実施

工事費 9,240,000円（工期 開発許可のあった翌日からH25/4/30）

21 実習生の受入について

地域の社会資源として施設機能を提供し、各種実習を受入れた。

◎実習受入状況

団体・学校等（目的等）	人数	延べ日数
大垣桜高等学校（介護福祉士養成）	7人	135日
岐阜女子大学（管理栄養士養成）	1人	5日
東海学院大学（管理栄養士養成）	3人	30日
中部学院大学短期大学部（介護福祉士養成）	5人	80日
北中学校（ワークキャンプ）	16人	16日
北中学校（職場体験）	4人	12日
上石津中学校（職場体験）	3人	6日
岐阜聖徳大学（教諭免許に係る介護等）	2人	10日

22 諸行事の実施について

利用者様の生きがいと心の豊かさを求めて、家庭及び学校、地域社会の皆さまの協力を得て、花見、盆踊り大会等、年間諸行事を実施した。

○平成24年度 年間行事及び参加者数

行事名	実施日	参加者
花見	4月8日、4月10日	16名
盆踊り大会	8月1日	100名
敬老の日	9月17日	67名
運動会	10月3日	89名
彼岸法要	9月24日	74名
焼き芋大会	10月22日	22名
餅つき大会	12月19日	76名
節分	中止	0名
かくし芸大会	中止	0名
彼岸法要	3月19日	68名

23 クラブ活動

利用者様の自主性を尊重し、自立を促すべく運動・教養・娯楽等を通じ、健康の保持と利用者様同士の交流の場として定期的実施した。

○24年度 クラブ活動

ゲーム（リハビリ活動を含む）	年26回	延	176名
書道クラブ	年10回	延	53名
カラオケクラブ	年8回	延	41名
手芸クラブ（貼り絵、折り紙）	年14回	延	70名
散策	年18回	延	93名
ドライブ	年27回	延	41名
喫茶（誕生会等）	年12回	延	945名
慰問（手遊び、押し花、人形劇、ハーモニカ、フラダンス等）	年169回	延1,	219名

24 家族会の活動について

- (1) いぶき苑が実施する行事には、家族の会も共催し、会員の方への参加を呼びかけ、家族の参加をいただいた。
- (2) 9月の敬老の日には食事会を開催し20人を超える方に参加いただいた。ご利用者は家族との食事を喜んでおられた。
- (3) 2月の総会・食事会は、計画し通知を出したもののインフルエンザ流行期であり開催することはできなかった。

25 職員研修について

職員の資質向上を図るため、苑内研修と外部研修に参加した。

(1) 苑内研修

- ・ 平成24年度事業計画について
- ・ バイタルサイン&軽い創傷処置について
- ・ 拘縮予防について
- ・ 移乗介助について
- ・ 口腔ケアについて
- ・ 個人情報とプライバシーについて
- ・ ISO9001について
- ・ 危険予知訓練
- ・ サブリーダー勉強会報告
- ・ 接遇研修報告
- ・ 美味しいお茶の入れ方
- ・ 施設に於ける栄養管理セミナーIN 岐阜 (研修報告)
- ・ 感染症予防について
- ・ 施設でのターミナルケア
- ・ 衛生講習会
- ・ ケアプランとは
- ・ 認知症高齢者の対応 (高齢者の心理について：研修報告)
- ・ 身体拘束について
- ・ 生活リハビリ講座
- ・ 介護機器の取り扱い
- ・ 認知症高齢者の心理を理解する

(2) 外部研修

- ・ 大垣信用金庫新入社員研修
- ・ 大垣信用金庫中堅社員研修
- ・ 生活リハビリ講座2012
- ・ 高齢者のための口腔ケアスキル習得セミナー
- ・ 介護記録の正しい書き方
- ・ 介護給付費請求にかかる事業所説明会
- ・ 学習療法シンポジウム
- ・ 認知症介護実践者研修
- ・ 褥瘡ケアセミナー
- ・ 第1回栄養士会研修会
- ・ 安全運転管理者講習会

- ・生涯研修課程 中堅職員研修
- ・生涯研修課程 新任職員研修
- ・認知症介護実践者研修
- ・介護支援専門員実務従事者基礎研修
- ・介護支援専門員専門研修Ⅰ
- ・介護支援専門員専門研修Ⅱ
- ・介護力向上講習会
- ・東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（岐阜大会）
- ・社会福祉法人セミナー
- ・介護支援専門員実務研修準備講習会
- ・個人情報保護対策研修
- ・権利擁護推進員養成研修
- ・排泄ケアセミナー
- ・生涯研修課程 指導的職員研修
- ・福祉・介護施設職員接遇研修（基礎コース）
- ・福祉・介護施設職員接遇研修（ステップアップコース）
- ・岐阜県老施協 認知症研修
- ・岐阜県老施協西濃支部前期研修会
- ・認知症介護実リーダー研修
- ・認知症介護実リーダー研修（外部実習）
- ・実習先施設長及び指導者会議
- ・摂食・嚥下リハビリテーション初級課程講習会
- ・労災防止講習会
- ・岐阜県嚥下障害研究会 第1回成人勉強会
- ・第1回社会保障・人口問題基礎講座
- ・介護福祉士実習施設指導者講習会
- ・賃金見直しセミナー
- ・労働時間管理セミナー
- ・ISO9001内部監査員養成研修
- ・介護福祉士初任者研修
- ・福利厚生センター 接遇講習会
- ・介護福祉士会 実習指導者講習会
- ・社会福祉法人会計研修会
- ・社会福祉法人労務管理研修会
- ・介護職員医学の基礎知識
- ・介護職員スキルアップ講習会
- ・民間社会福祉施設合宿研修
- ・全国社会福祉施設経営者大会
- ・東海北陸ブロックカンントリーミーティング
- ・福祉施設、事業所求人担当者研修
- ・クレーム対応研修
- ・福祉相談業務従事者研修
- ・生活機能向上研修会
- ・嚥下摂食セミナー
- ・トーカーフーズセミナー
- ・メタルヘルス研修会

- ・管理職向けリスクマネジメント研修
- ・新会計基準研修
- ・社会福祉トップセミナー
- ・介護保険指定事業所に対する集団指導
- ・結核重点地域対策事業
- ・人材育成セミナー
- ・労働災害防止研修会
- ・福祉サービス苦情解決研修会
- ・老協協 西濃支部後期研修会
- ・チームリーダー研修会
- ・認知症高齢者介護職員研修
- ・西濃地域福祉ネットワーク研修会
- ・施設ケアマネージャー研修会
- ・日常自立支援事業セミナー
- ・自衛消防隊員教育
- ・福祉施設ボランティアマネジメント研修
- ・成年後見活用講座
- ・社会福祉法人予算・決算のポイント研修会
- ・全国老人福祉施設研究会議
- ・介護職員等によるたん吸引等研修指導者養成研修
- ・気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー
- ・西濃在宅緩和ケアセミナー

第3. 居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

1 居宅介護支援事業（職員数 常勤換算1.5人）

- (1) 介護保険の認定について初回・更新に関わらず、ご家族に代わって手続きの代行を行った。
- (2) 垂井町より受託し、認定調査を行った。
- (3) 介護保険の居宅サービスの利用を希望される方と契約を交わし、居宅介護サービス計画を作成し、円滑に居宅介護サービスが利用できるようサービス事業者との調整を図り、在宅での生活の支援を行った。
- (4) 介護予防については、垂井町地域包括支援センターからの計画作成業務の委託を受け、介護予防サービス計画を作成し、介護者同様に居宅の予防サービスの利用がスムーズになるよう調整を行った。
- (5) 隔月に実施される介護支援専門員連絡会に出席し、困難事例の検討を図るなどスキルアップに努めた。

居宅介護サービス計画及び認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援（予防）	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4
要介護 1,2	10	8	10	12	12	12	13	14	17	16	18	18
要介護 3,4,5	5	7	7	7	8	7	8	8	7	5	7	5
認定調査	7	9	9	9	11	5	9	12	7	6	6	6

2 在宅介護支援センター事業

- (1) 垂井町より受託し、地域の高齢者の総合相談窓口として介護保険サービスの利用や、心配

ごとなど、種々の相談に応じて必要な助言や指導をおこなった。

- (2) 地域の方の聞き取りによる実態調査を行い、健康・福祉の相談も実施した。
- (3) 事業所内で、常時介護用品や福祉用具の展示をし、購入の相談にあたるなど便宜を図った。
- (4) デイサービスぽかぽかいぶき地域支援会議に参加し、情報の提供や地域からの要望を伺った。

地域の方からの聞き取り状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月毎聞き取り件数		30	35	25	28	25	26	34	23	34	20	41	19
聴き取り内容 (重複回答あり)	健康について	30	34	21	25	14	25	30	20	20	18	21	19
	福祉について	18	17	14	12	21	12	20	13	13	11	18	13
	経済(就労)	6	8	10	8	1	5	4	12	6	6	11	3
	将来(今後)	20	16	10	19	13	16	15	10	18	8	13	6
	その他	4	8	10	5	3	7	4	7	6	4	8	3

第4. デイサービスぽかぽかいぶき

1 利用者さまの諸状況

平成25年3月31日現在

(1) 契約者数の状況 (前年実績)

	男	女	合計
要支援	0 (0)	5 (6)	5 (6)
要介護	0 (1)	21 (15)	21 (16)
計	0 (1)	26 (21)	26 (22)

(2) 利用状況 平成24年度

	営業日数	通所介護 (延人数)	予防通所介護 (延人数)	延利用人数	稼働率
4月	20	91	31	122	61%
5月	22	117	39	156	71%
6月	21	135	29	164	78%
7月	21	141	30	171	81%
8月	23	140	35	175	76%
9月	20	114	31	145	73%
10月	22	130	31	161	73%
11月	21	140	25	165	79%
12月	19	130	21	151	79%
1月	20	142	22	164	82%
2月	20	143	24	167	84%
3月	20	150	23	173	87%
年計	249	1,573	341	1,914	77%

(3) 年齢別・男女別 (平成25年3月31日現在契約者)

	男性	女性	合計
60歳未満	0	0	0
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	1	1
70歳以上75歳未満	0	2	2
75歳以上80歳未満	0	4	4
80歳以上85歳未満	0	3	3
85歳以上90歳未満	0	6	6
90歳以上95歳未満	0	6	6
95歳以上100歳未満	0	4	4
100歳以上	0	0	0
平均年齢	—	86	86
最高年齢	—	97	97
最低年齢	—	69	69

(4) 要介護度別・男女別 (平成25年3月31日現在契約者)

	男性	女性	合計
要支援Ⅰ	0	1	1
要支援Ⅱ	0	4	4
要介護Ⅰ	0	8	8
要介護Ⅱ	0	9	9
要介護Ⅲ	0	3	3
要介護Ⅳ	0	1	1
要介護Ⅴ	0	0	0
平均介護度	—	1.86	1.86

(5) 市町村別利用者状況 (平成25年3月31日現在契約者)

町 村	男	女	合計
垂井町	0	25	25
関ヶ原町	0	1	1

2 学習療法の実施について

学習療法の実施者 13名 (平成25年3月31日現在)

意欲的に学習をされ、13名の内、4名の方が自宅学習を行われている。

6ヶ月毎にFAB (前頭前野機能検査) MMSE (認知機能検査) を実施し、くもん学習療法センターへ評価を依頼し維持できていることを確認した。新規利用者様には学習療法を行なうことを推進している。

3 アクティビティ、趣味活動について

4月	花見(相川・朝倉・清水寺公園) 誕生会 お菓子作り カラオケ 落語(ボランティア) 押し花メッセージ(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) 手品(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア) 園芸(ボランティア) 音楽レク(ボランティア)
5月	祭り見学(垂井町曳山・御旅神社) ドライブ(バラ園・藤・奥の細道記念館) カラオケ 誕生会 ギター演奏(ボランティア) 音楽レク(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) 手品(ボランティア) お菓子作り 手芸 ハーモニカ(ボランティア)
6月	ドライブ(菖蒲園・紫陽花寺) 防災訓練 誕生会 カラオケ お菓子作り 南宮大社茅の輪くぐり 音楽レク(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) 落語(ボランティア) 園芸(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア)
7月	流しそうめん ドライブ(紫陽花寺) 七夕祭り 誕生会 すいか割り お菓子作り カラオケ 書道 手芸 手遊び(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア) 手品(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) 音楽レク(ボランティア)
8月	ドライブ(ひまわりランド) 誕生会 カラオケ 書道 ミニ夏祭り お菓子作り(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) 落語(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア) 手品(ボランティア) 園芸(ボランティア) 音楽レク(ボランティア)
9月	敬老週間 ドライブ(明神湖) 誕生会 お菓子作り カラオケ 書道 ギター演奏(ボランティア) 音楽レク(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア)
10月	家族交流会 菊花展見学 ドライブ(コスモス) 作品展 防災訓練 誕生会 カラオケ 書道 お菓子作り ミニ運動会 焼き芋大会(いぶき苑) 笑いヨガ(ボランティア) 園芸(ボランティア) 手品(ボランティア) 落語(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア) 音楽レク(ボランティア)
11月	紅葉ドライブ(円興寺・南宮大社・朝倉) 書道 カラオケ 菊花展 誕生会 お菓子作り 音楽レク(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア) 手品(ボランティア)
12月	クリスマス週間 忘年会週間 誕生会 書道 お菓子作り カラオケ 餅つき大会(いぶき苑) 落語(ボランティア) 園芸(ボランティア) 音楽レク(ボランティア) 手品(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) 生け花(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア)
1月	初詣(南宮大社・八重垣神社・御旅神社・伊富岐神社) 鏡開き 七草がゆ 書初め お菓子作り カラオケ 誕生会 初釜(ボランティア) ギター演奏(ボランティア) うどん作り(ボランティア) 笑いヨガ(ボランティア) ハーモニカ(ボランティア)

	音楽レク (ボランティア)
2月	節分 書道 カラオケ 誕生会 お菓子作り ギター演奏 (ボランティア) 落語 (ボランティア) 園芸 (ボランティア) 手遊び (ボランティア) 笑いヨガ (ボランティア) ハーモニカ (ボランティア) 手遊び・オカリナ (ボランティア) 音楽レク (ボランティア)
3月	ひな祭り ドライブ (安八百梅園・墨俣光受寺飛龍梅・相川鯉のぼり) 土筆取り カラオケ 誕生会 お菓子作り 書道 笑いヨガ (ボランティア) 手遊び (ボランティア) ギター演奏 (ボランティア) ハーモニカ (ボランティア) 音楽レク (ボランティア)

4 施設の地域開放について

地域の高齢者を対象とした福祉活動や地域コミュニティ活動への推進の向上に資するため、施設利用時間以外に無料で貸し出しをすることとして施設使用規程を作成し、デイサービス ぽかぽかいぶき地域支援会議にて検討している。

5 家族交流会の開催について

家族交流会を10月に開催した。利用者さまと家族さま、担当のケアマネ様、総勢11名の参加があった。デイサービスの活動報告とともに学習療法の成果を報告し、くもん学習療法センターより「脳の活性化」についての講演会を行った。機能維持について興味深く聞かれ、交流会では他の利用者のご家族同士会話が出来てよかったと喜ばれた。

財産目録

(平成25年 3月31日現在)

(単位:円) 1頁

資産・負債の内訳		金額	
1. 資産の部			
001 流動資産			
01 現金預金 188,904,453			
01 小口現金	現金手許有高		55,819
02 普通預金 163,848,634			
01 大垣共立 277499	垂井支店 本部経理区分		2,715,790
02 大垣共立 586455	垂井支店 特養、短期、居宅、在支経理区分		151,803,198
03 十六銀行 1196495	垂井支店 特養経理区分		1,907,483
04 西美濃農協 9714111	垂井支店 特養経理区分		511,604
05 大垣信金 1125120	垂井支店 特養経理区分		1,247,998
06 大垣共立 603459	垂井支店 デイ経理区分		5,662,561
03 定期預金 25,000,000			
02 有価証券 325,000,000			
大垣共立	中期利付国債	255,000,000	
大垣信用	中期利付国債	70,000,000	
03 未収金 83,006,029			
01 未収金 72,557,804			
	国保連 施設介護報酬	53,217,761	
	短期入所介護報酬	2,477,170	
	居宅介護支援報酬	544,000	
	デイサービス介護報酬	2,919,078	
垂井町	身障者短期入所	76,000	
	介護予防居宅介護支援報酬	16,480	
	認定調査委託料	22,050	
	在宅介護支援センター委託費	1,792,500	
利用者	施設利用負担金	9,989,984	
	短期入所利用負担金	847,147	
	身障者短期利用負担金	10,460	
	デイサービス利用負担金	586,347	
	その他未収金	58,827	
02 未収補助金	介護職員定着支援事業補助金	210,900	10,448,225
	愛のともしび基金事業補助金	747,000	
	介護雇用プログラム委託業務料	9,490,325	
04 貯蔵品	切手、はがき、収入印紙		21,650
05 立替金 256,061			
	職員 食事代	136,766	
	社会保険料他給与控除分	117,111	
	家族の会 弔電代	2,184	
06 前払金 419,650			
	損害保険料	185,350	
	火災保険料	127,080	
	その他前払金	107,220	
07 短期貸付金 241,380			
	ケアマネージャー資格取得費		241,380
流動資産計			597,849,223
002 固定資産			
01 基本財産			
01 建物 242,061,401			
	不破郡垂井町岩手4538 主体建物	157,963,079	
	付属設備	80,897,552	
	車庫・倉庫	3,200,770	
02 土地 65,107,971			
	不破郡垂井町岩手4538番地	17,499,724	
	4543番地	20,926,953	
	4555番地	908,844	
	4544番地	1,376,750	
	垂井町府中野庭1947番地の1	80,600	
	別館建設用地	24,315,100	
03 基本財産特定預金 1,000,000			
	大垣共立 垂井支店 定期預金		1,000,000
基本財産計			308,169,372
02 その他の固定資産			
01 建物 15,553,593			
	不破郡垂井町岩手4538番地 付属設備	1,525,012	
	不破郡垂井町府中2527番地 デイ内装他	14,028,581	
02 構築物	国旗掲揚ポール、看板		397,972
03 機械及び装置	待浴、電話主装置他		1,437,483
04 車輛運搬具	自動車10大		4,105,213
05 器具及び備品	別紙固定資産台帳による		12,231,267
07 建設仮勘定	別館建設費		15,548,400
08 権利	コンピュータシステム、ソフトウェア		892,307
16 施設設備整備積立預金 200,000,000			
	大垣共立 垂井支店 定期預金	160,000,000	
	十六 垂井支店 定期預金	10,000,000	
	西美濃農協 垂井支店 定期預金	10,000,000	
	大垣信用 垂井支店 定期預金	20,000,000	
17 その他の固定資産 33,237,998			
	退職共済預け金	32,938,586	
	セコム保証金	50,000	
	土地改良区 側溝	155,892	
	自動車リサイクル預託金	93,520	

財産目録

(平成25年 3月31日現在)

(単位：円) 2頁

資産・負債の内訳	金額
その他の固定資産計	283,404,233
固定資産計	691,573,605
資産合計	1,189,422,828

財産目録

(平成25年 3月31日現在)

(単位：円)

3頁

資産・負債の内訳		金額	
2. 負債の部			
011 流動負債			
02 未払金			20,028,644
01 未払金	職員 手当、賃金	5,383,523	20,028,644
	法定福利費	4,508,020	
	垂井町 水道料	107,311	
	業者支払い	10,029,790	
03 預り金	社会保険料	4,272,970	5,566,488
	所得税	424,915	
	住民税	749,800	
	その他預り金	118,803	
	流動負債計		26,595,132
012 固定負債			
04 退職給与引当金			32,765,143
	固定負債計		32,765,143
	負債合計		58,360,275
	差引純資産		1,131,062,553

貸借対照表

(平成25年 3月31日現在)

(単位:円)

1頁

資産の部			
科目	当年度末	前年度末	増減
001 流動資産	597,849,223	597,686,124	163,099
01 現金預金	188,904,453	178,224,826	10,679,627
01 小口現金	55,819	146,924	△91,105
02 普通預金	163,848,634	178,077,902	△14,229,268
03 定期預金	25,000,000		25,000,000
02 有価証券	325,000,000	345,000,000	△20,000,000
03 未収金	83,006,029	73,912,703	9,093,326
01 未収金	72,557,804	73,912,703	△1,354,899
02 未収補助金	10,448,225		10,448,225
04 貯蔵品	21,650	18,190	3,460
05 立替金	256,061	159,255	96,806
06 前払金	419,650	340,740	78,910
07 短期貸付金	241,380		241,380
08 仮払金		30,410	△30,410
002 固定資産	591,573,605	574,568,412	17,005,193
001 基本財産	308,169,372	301,524,199	6,645,173
01 建物	242,061,401	259,731,328	△17,669,927
02 土地	65,107,971	40,792,871	24,315,100
03 基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	
002 その他の固定資産	283,404,233	273,044,213	10,360,020
01 建物	15,553,593	16,315,195	△761,602
02 構築物	397,972	302,477	95,495
03 機械及び装置	1,437,483	1,923,095	△485,612
04 車輛運搬具	4,105,213	4,001,816	103,397
05 器具及び備品	12,231,267	17,043,311	△4,812,044
07 建設仮勘定	15,548,400		15,548,400
08 権利	892,307	1,635,377	△743,070

貸借対照表

(平成25年 3月31日現在)

(単位:円)

2頁

資産の部			
科目	当年度末	前年度末	増減
16 施設設備整備積立預金	200,000,000	200,000,000	
17 その他の固定資産	33,237,998	31,822,942	1,415,056
資産の部合計	1,189,422,828	1,172,254,536	17,168,292

貸借対照表

(平成25年 3月31日現在)

(単位:円)

3頁

負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減
011 流動負債	25,595,132	24,549,225	1,045,907
02 未払金	20,028,644	19,244,577	784,067
01 未払金	20,028,644	19,244,577	784,067
03 預り金	5,566,488	5,304,648	261,840
012 固定負債	32,765,143	32,808,194	△43,051
04 退職給与引当金	32,765,143	32,808,194	△43,051
負債の部合計	58,360,275	57,357,419	1,002,856
純資産の部			
科目	当年度末	前年度末	増減
013 基本金	161,669,873	161,669,873	
01 基本金	161,669,873	161,669,873	
014 国庫補助金等 特別積立金	95,036,931	103,952,735	△8,915,804
01 国庫補助金等特別 積立金(整備時分)	95,036,931	103,952,735	△8,915,804
015 その他の積立金	200,000,000	200,000,000	
02 施設設備整備積立金	200,000,000	200,000,000	
016 次期繰越活動 収支差額	674,355,749	649,274,509	25,081,240
01 次期繰越活動 収支差額	674,355,749	649,274,509	25,081,240
01 次期繰越活動収支 差額(整備時分)	674,355,749	649,274,509	25,081,240
02 (うち当期活動 収支差額)	25,081,240	26,025,848	△944,608
純資産の部合計	1,131,062,553	1,114,897,117	16,165,436
負債及び純資産の部合計	1,189,422,828	1,172,254,536	17,168,292

注記 重要な会計方針

- (1) 当法人は、社会福祉法人会計基準に基づいて会計処理及び計算書類の作成をしています。
- (2) 退職給与引当金の計上基準
職員の退職金の支給に備えるため、財団法人岐阜県民間社会福祉事業従事者共済会よりの計算通知に基づいた退職給与引当金を計上しています。
- (3) 減価償却費の計上基準 定額法
- (4) 国庫補助金等特別積立金の取崩額は、社会福祉法人会計基準における会計処理に基づき計算しています。
- (5) 平成21年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、耐用年数到来後も使用する場合、法人税法施行令61②の規定に準じた社会福祉法人会計基準に基づいて、残存価額を5年間で備忘価額1円まで均等に償却している。

脚注 減価償却費の累計額 461,794,296円

注記 当計算書類は、社会福祉法人会計基準に基づいて作成されています。

資金収支計算書

(自平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
経 常 活 動 に よ る 収 入	111 介護保険収入	426,650,000	438,215,422	△11,565,422	
	01 介護福祉施設介護料収入	324,100,000	333,115,820	△9,015,820	
	02 居宅介護料収入	33,700,000	36,162,611	△2,462,611	
	03 居宅介護支援介護料収入	2,870,000	2,963,600	△93,600	
	04 利用者等利用料収入	65,730,000	65,602,216	127,784	
	05 その他の事業収入	250,000	371,175	△121,175	
	112 補助事業等収入	9,091,000	11,204,442	△2,113,442	
	01 補助事業等収入	9,091,000	11,204,442	△2,113,442	
	113 自立支援費等収入	600,000	805,510	△205,510	
	01 介護給付費収入	540,000	741,000	△201,000	
	02 利用者負担金収入	60,000	64,510	△4,510	
	118 その他の事業収入	3,580,000	3,585,000	△5,000	
	01 その他の事業収入	3,580,000	3,585,000	△5,000	
	119 経常経費補助金収入	190,000	396,359	△206,359	
	01 経常経費補助金収入	190,000	396,359	△206,359	
	120 寄付金収入	20,000	1,941,762	△1,921,762	
	01 寄付金収入	20,000	1,941,762	△1,921,762	
	121 雑収入	450,000	706,949	△256,949	
	01 雑収入	450,000	706,949	△256,949	
	124 受取利息配当金収入	3,390,000	3,169,542	220,458	
	01 受取利息配当金収入	3,390,000	3,169,542	220,458	
	126 経理区分間繰入金収入	9,322,000		9,322,000	
	01 経理区分間繰入金収入	9,322,000		9,322,000	
	経常収入計(1)	453,293,000	460,024,986	△6,731,986	
支 出	081 人件費	344,534,000	299,649,851	44,884,149	
	01 役員報酬	2,950,000	2,230,000	720,000	
	02 職員俸給	152,106,000	122,951,597	29,154,403	
	03 職員諸手当	78,852,000	75,007,538	3,844,462	
	04 非常勤職員給与	66,607,000	59,394,929	7,212,071	
	05 退職金	4,840,000	3,452,840	1,387,160	
	06 退職共済掛金	1,114,000	1,072,800	41,200	
	07 法定福利費	38,065,000	35,540,147	2,524,853	
	082 事務費支出	65,745,000	55,485,499	10,259,501	
	01 福利厚生費	4,210,000	2,997,226	1,212,774	
	02 旅費交通費	3,018,000	1,307,112	1,710,888	
	03 研修費	2,060,000	1,904,758	155,242	
	04 消耗品費	2,180,000	1,830,925	349,075	

資金収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目		予算	決算	差異	備考
	05 器具什器費	983,000	929,487	53,513	
	06 印刷製本費	380,000	176,937	203,063	
	07 水道光熱費	1,310,000	1,086,000	224,000	
	08 燃料費	948,000	653,000	295,000	
	09 修繕費	2,950,000	2,214,833	735,167	
	10 通信運搬費	1,630,000	1,576,844	53,156	
	11 会議費	410,000	276,827	133,173	
	12 広報費	4,352,000	3,260,410	1,091,590	
	13 業務委託費	35,856,000	32,989,730	2,866,270	
	14 手数料	560,000	502,934	57,066	
	15 損害保険料	1,033,000	810,060	222,940	
	16 賃借料	1,630,000	1,238,577	391,423	
	17 租税公課	175,000	147,100	27,900	
	18 渉外費	680,000	384,911	295,089	
	19 雑費	820,000	714,328	105,672	
	20 諸会費	560,000	483,500	76,500	
	083 事業費支出	74,090,000	62,870,149	11,219,851	
	01 給食費	32,770,000	29,193,467	3,576,533	
	02 保健衛生費	1,310,000	979,694	330,306	
	03 被服費	2,933,000	1,739,046	1,193,954	
	04 教養娯楽費	1,410,000	1,050,748	359,252	
	05 日用品費	1,080,000	830,468	249,532	
	08 水道光熱費	11,340,000	11,012,752	327,248	
	09 燃料費	8,868,000	5,555,090	3,312,910	
	10 消耗品費	10,820,000	9,865,631	954,369	
	11 器具什器費	2,182,000	1,956,613	225,387	
	12 賃借料	851,000	321,560	529,440	
	18 雑費	526,000	365,080	160,920	
	084 利用者負担軽減額	300,000		300,000	
	01 利用者負担軽減額	300,000		300,000	
	086 経理区分間繰入金支出	9,322,000		9,322,000	
	01 経理区分間繰入金支出	9,322,000		9,322,000	
	經常支出計(2)	493,991,000	418,005,499	75,985,501	
	經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△40,698,000	42,019,487	△82,717,487	
施	127 施設整備等補助金収入	740,000	747,000	△7,000	
設	02 設備整備補助金収入	740,000	747,000	△7,000	
入	施設整備等収入計(4)	740,000	747,000	△7,000	

資金収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:円) 3頁

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
備 等 に よ る 収 支	087 固定資産 取得支出	76,280,000	42,837,225	33,442,775	
	01 建物 取得支出	35,510,000	15,548,400	19,961,600	
	02 車輛運搬具 取得支出	2,100,000	1,606,510	493,490	
	03 その他物品 取得支出	38,670,000	25,682,315	12,987,685	
	施設整備等支出計(5)	76,280,000	42,837,225	33,442,775	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△75,540,000	△42,090,225	△33,449,775	
財 務 活 動	133 その他の収入	4,830,000	3,452,840	1,377,160	
	03 その他の収入	4,830,000	3,452,840	1,377,160	
	財務収入計(7)	4,830,000	3,452,840	1,377,160	
支 に よ る 収 支	092 その他の支出	5,082,000	4,264,910	817,090	
	01 その他の支出	5,082,000	4,264,910	817,090	
	財務支出計(8)	5,082,000	4,264,910	817,090	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△252,000	△812,070	560,070	
	予備費(10)	8,540,000		8,540,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△125,030,000	△882,808	△124,147,192	
	前期末支払資金残高(12)		573,136,899	△573,136,899	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△125,030,000	572,254,091	△697,284,091	

注記 当計算書類は、社会福祉法人会計基準に基づいて作成されています。

事業活動収支計算書

(自平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	前年比
事業活動収支の部	051 介護保険収入	438,215,422	441,701,716	△3,486,294	99.21%
	01 介護福祉施設介護料収入	333,115,820	335,186,570	△2,070,750	99.38%
	02 居宅介護料収入	36,162,611	36,764,015	△601,404	98.36%
	03 居宅介護支援介護料収入	2,963,600	3,168,080	△204,480	93.55%
	04 利用者等利用料収入	65,602,216	66,303,751	△701,535	98.94%
	05 その他の事業収入	371,175	279,300	91,875	132.89%
	052 補助事業等収入	11,204,442	10,491,431	713,011	106.80%
	01 補助事業等収入	11,204,442	10,491,431	713,011	106.80%
	053 自立支援費等収入	805,510	793,050	12,460	101.57%
	01 介護給付費収入	741,000	728,080	12,920	101.77%
	02 利用者負担金収入	64,510	64,970	△460	99.29%
	058 その他の事業収入	3,585,000	3,585,000		100.00%
	01 その他の事業収入	3,585,000	3,585,000		100.00%
	059 経常経費補助金収入	396,359	497,025	△100,666	79.75%
	01 経常経費補助金収入	396,359	497,025	△100,666	79.75%
	060 寄付金収入	1,941,762	654,258	1,287,504	296.79%
	01 寄付金収入	1,941,762	654,258	1,287,504	296.79%
	061 雑収入	2,302,369	489,887	1,812,482	469.98%
	01 雑収入	2,302,369	489,887	1,812,482	469.98%
	063 引当金戻入	5,845		5,845	
	02 退職給与引当金戻入	5,845		5,845	
064 国庫補助金等特別積立金取崩額	9,662,804	8,682,071	980,733	111.30%	
01 国庫補助金等特別積立金取崩額(整備)	9,662,804	8,682,071	980,733	111.30%	
事業活動収入計(1)		468,119,513	466,894,438	1,225,075	100.26%
支出	021 人件費	296,347,711	290,540,165	5,807,546	102.00%
	01 役員報酬	2,230,000	2,140,000	90,000	104.21%
	02 職員俸給	122,951,597	120,383,700	2,567,897	102.13%
	03 職員諸手当	75,007,538	76,367,416	△1,359,878	98.22%
	04 非常勤職員給与	59,394,929	56,795,712	2,599,217	104.58%
	05 退職金	150,700	1,185	149,515	12717.30%
	06 退職共済掛金	1,072,800	1,117,500	△44,700	96.00%
	07 法定福利費	35,540,147	33,734,652	1,805,495	105.35%
	022 事務費支出	55,485,499	66,358,560	△10,873,061	83.61%
	01 福利厚生費	2,997,226	2,692,653	304,573	111.31%
	02 旅費交通費	1,307,112	1,159,092	148,020	112.77%
	03 研修費	1,904,758	475,492	1,429,266	400.59%
	04 消耗品費	1,830,925	2,113,223	△282,298	86.64%
	05 器具什器費	929,487	854,499	74,988	108.78%
	06 印刷製本費	176,937	233,935	△56,998	75.64%
	07 水道光熱費	1,086,000	1,013,000	73,000	107.21%
	08 燃料費	653,000	655,000	△2,000	99.69%
	09 修繕費	2,214,833	2,577,891	△363,058	85.92%
10 通信運搬費	1,576,844	1,504,720	72,124	104.79%	
11 会議費	276,827	264,393	12,434	104.70%	
12 広報費	3,260,410	2,412,547	847,863	135.14%	
13 業務委託費	32,989,730	46,377,729	△13,387,999	71.13%	
14 手数料	502,934	481,592	21,342	104.43%	
15 損害保険料	810,060	717,480	92,580	112.90%	
16 賃借料	1,238,577	1,428,511	△189,934	86.70%	
17 租税公課	147,100	39,400	107,700	373.35%	
18 渉外費	384,911	454,774	△69,863	84.64%	

事業活動収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	前年比	
	19 雑費	714,328	420,629	293,699	169.82%	
	20 諸会費	483,500	482,000	1,500	100.31%	
023	事業費支出	62,870,149	59,816,235	3,053,914	105.11%	
	01 給食費	29,193,467	25,932,046	3,261,421	112.58%	
	02 保健衛生費	979,694	1,010,910	△31,216	96.91%	
	03 被服費	1,739,046	2,463,732	△724,686	70.59%	
	04 教養娯楽費	1,050,748	1,223,691	△172,943	85.87%	
	05 日用品費	830,468	797,582	32,886	104.12%	
	08 水道光熱費	11,012,752	9,455,356	1,557,396	116.47%	
	09 燃料費	5,555,090	6,419,298	△864,208	86.54%	
	10 消耗品費	9,865,631	10,362,937	△497,306	95.20%	
	11 器具什器費	1,956,613	1,295,895	660,718	150.99%	
	12 賃借料	321,560	771,744	△450,184	41.67%	
	18 雑費	365,080	83,044	282,036	439.62%	
024	利用者負担軽減額		19,748	△19,748	0.00%	
	01 利用者負担軽減額		19,748	△19,748	0.00%	
025	減価償却費	27,238,989	26,499,300	739,689	102.79%	
	01 減価償却費	27,238,989	26,499,300	739,689	102.79%	
027	引当金繰入	3,264,934	3,847,903	△582,969	84.85%	
	01 退職給与引当金繰入	3,264,934	3,847,903	△582,969	84.85%	
	事業活動支出計(2)	445,207,282	447,081,911	△1,874,629	99.58%	
	事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	22,912,231	19,812,527	3,099,704	115.65%	
事業活動外の収支	066 受取利息配当金収入	3,169,542	3,675,953	△506,411	86.22%	
	01 受取利息配当金収入	3,169,542	3,675,953	△506,411	86.22%	
	068 経理区分間繰入金収入		7,209,000	△7,209,000	0.00%	
	01 経理区分間繰入金収入		7,209,000	△7,209,000	0.00%	
		事業活動外収入計(4)	3,169,542	10,884,953	△7,715,411	29.12%
	029 経理区分間繰入金支出		7,209,000	△7,209,000	0.00%	
01 経理区分間繰入金支出		7,209,000	△7,209,000	0.00%		
033 雑損失	975,635	221,870	753,765	439.73%		
01 雑損失	975,635	221,870	753,765	439.73%		
	事業活動外支出計(5)	975,635	7,430,870	△6,455,235	13.13%	
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	2,193,907	3,454,083	△1,260,176	63.52%	
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	25,106,138	23,266,610	1,839,528	107.91%	
特別収支の部	071 施設整備等補助金収入	747,000	44,133,000	△43,386,000	1.69%	
	02 設備整備補助金収入	747,000	44,133,000	△43,386,000	1.69%	
	076 その他の特別収入		3,907,293	△3,907,293	0.00%	
	01 その他の特別収入		3,907,293	△3,907,293	0.00%	
		特別収入計(8)	747,000	48,040,293	△47,293,293	1.55%
	035 固定資産売却損・処分損	24,898	987,202	△962,304	2.52%	
	01 器具及び備品売却損・処分損	24,898	19,200	5,698	129.68%	
	03 その他の固定資産売却損・処分損		968,002	△968,002	0.00%	
	036 国庫補助金等特別積立金積立額	747,000	44,133,000	△43,386,000	1.69%	
	01 国庫補助金等特別積立金積立額(整備)	747,000	44,133,000	△43,386,000	1.69%	
037 その他の特別損失		160,853	△160,853	0.00%		
01 その他の特別損失		160,853	△160,853	0.00%		
	特別支出計(9)	771,898	45,281,055	△44,509,157	1.70%	
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	△24,898	2,759,238	△2,784,136	△0.90%	
	当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	25,081,240	26,025,848	△944,608	96.37%	
繰越	前期末繰越活動収支差額(12)	649,274,509	823,248,661	△173,974,152	78.87%	
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	674,355,749	849,274,509	△174,918,760	79.40%	

事業活動収支計算書

(自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)

(単位：円) 3頁

	勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	前年比	
活動 収 支 差 額 の 部	077 基本金取崩額(14)					
	01 基本金取崩額					
	038 基本金組入額(15)					
	01 4号基本金組入額					
	078 その他の積立金取崩額(16)					
	01 移行時特別積立金取崩額					
	039 その他の積立金積立額(17)		200,000,000	△200,000,000	0.00%	
	01 その他の積立金積立額		200,000,000	△200,000,000	0.00%	
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		674,355,749	649,274,509	25,081,240	103.86%

注記 当計算書類は、社会福祉法人会計基準に基づいて作成されています。

別紙

平成24年度 社会福祉法人白寿会 監事監査結果報告書

社会福祉法第40条の規定により、社会福祉法人白寿会の平成24年度における業務執行の状況及び財産の状況を監査した結果、業務の執行及び財産の管理は適正であり、これらに関する平成24年度の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書は正確であると認める。

平成25年5月13日

監 事 溝口 孝 ⑩

監 事 ⑩